

2020 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	玉井 晶章
研究テーマ	宮澤賢治の生前評価史研究
研究概要	宮澤賢治を中心とした作品解釈・文献資料の分析を通じて、賢治文学における生前評価の再考を行う。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>昨今の宮澤賢治研究においては生前の評価についての見直しが盛んに取り上げられ、特に大正後期に勃興する前衛詩の先駆けとして指摘されることが多い。こういった点を構大樹氏は「詩にとっての革新性、ひいては現今詩壇ヒエラルキーを突き崩す《新しさ》」であったと指摘した。こういった論考を受け、稿者は拙稿において賢治の生前評価には哲学言語を媒介とした〈内容の新しさ〉に注目が集まっていた点を指摘した。</p> <p>ただし現在のところ賢治と西洋哲学との関係性については、まだまだ実証的な調査が進んでいるとは言えない。そこで本研究においては、稿者は賢治作品と同時代の哲学言説の比較によりこれまで不明とされていた語彙を詳らかにすることで新たなテキスト解析を行いたい。それはいまだ近代文学史の相関図において独自の立ち位置を占める賢治の文学性に、新しい視点を生む論料となることを期待する。</p> <p>以上の研究活動を推し進める上で必要と思われる資料の収集を行った。</p>
2. 今後の課題	<p>研究課題への理解を深め、より良い研究成果を導きだせるよう努力したい。</p>